

H29.12.13～H.30.2.16

大阪市立新箕中学校

第1学年

総合的な学習と教科横断的な学習課題への探求の記録

学年プロジェクト

「大阪市、勝手に！！びゅーてい大使！！」

学びの記録



1.実践のスタート



実践に至った経緯として、「数学って、たし算、ひき算、かけ算、わり算以外使わないやん！なんで勉強せなあかんの？」という質問を受けることが非常に多く、数学の魅力ばかりか、探求することに対して消極的で、教師の言うことに従っていればいい、板書を写せばそれでいい、と感じている生徒が非常にたくさんいる学年だなと感じたところがスタートでした。義務教育最後の3年間を過ごす上で「自らの考えや思いを持って、主体的に活動する生徒」の育成を図りたいと考えました。団結や思いや

りをテーマに学年の行事を進めて行く中で、数学科では、平面図形、空間図形の単元に入ります。兼ねてから、平面図形・空間図形を学習する上で、「人が美しいと感じる普遍的な“かたち”とは何だろうか？」というテーマで単元の学習に迫りたいと考えていました。その中で、探求的な学習を推進する上で、教室だけの学びだけでは不十分だと感じ、疑問を探求し、教科も超えて探求することができる大きなテーマを元に学習を進め、その中で、美しい“かたち”について迫りたいと考えました。今まで指導してきた流れと、これからの学習計画と、社会と学校がつながり合うテーマ設定をしました。そうしてできたのが、『大阪市、勝手に！！びゅーてい大使』プロジェクトです。生徒たちと教師との探求の記録です。

2. 学びのストーリー

まずは、学年集会で生徒たちとムービーを見て、目的、意義を伝えました。課題は、『『美しい』をテーマに大阪市の魅力を発信する』というもの。

生徒：大阪市の魅力って何？

生徒：発信するってどうやって伝えるの？

疑問がたくさん頭を駆け巡ったものの、生徒たちの表情はドキドキと少し不安があるような様子でした。教師側が生徒に伝えた条件は以下の7点です。

- ①大阪市の財産・施設・観光場所などを「美しさ」でまとめ、発信します。
- ②予算は0円です。（新箕中学校にあるものは使用可）
- ③PP（パワーポイント）を使って発信します。パソコンやタブレットを使用します。
- ④プレゼン大会の最大時間は90分です。
- ⑤1つのプレゼンは3分以上5分以内とします。よってチーム形式をとります。
- ⑥紹介するところは自ら足を運び、実体験を交えてプレゼンします。
- ⑦紹介するものの背景（歴史）に迫り、調べるだけではわからない「声」を発信します。

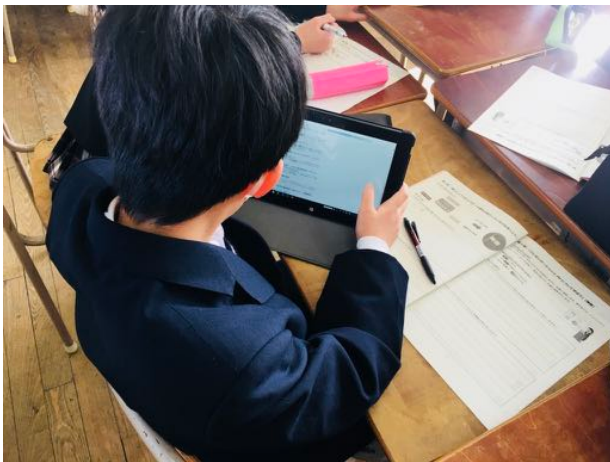




私たちにそんなことできるのかな？という気持ちもあったようでした。考える間を与えず、その後は学級に戻り、さっそくパソコン室で調べ学習を始めました。初めて行う探求的な学習だったので、戸惑いもありました。

生徒：そもそも美しいって何？

生徒：大阪市にはどんな施設があるの？



そこからのスタートでした。学校のパソコンや、タブレットを活用しながら調べていきました。

班編成もしつつ、どんなテーマで大阪の美しさに迫るのか、また、このメンバーで実際に現地にいき、調べ学習や質問などもしていかななくてはなりません。班編成するための情報や、各々の適性を考えて班編成をしなければならず、先の取り組みを予測して決めることに生徒たちも教師側も四苦八苦し、見通しをなかなか持つことができず、苦しい時間がありました。

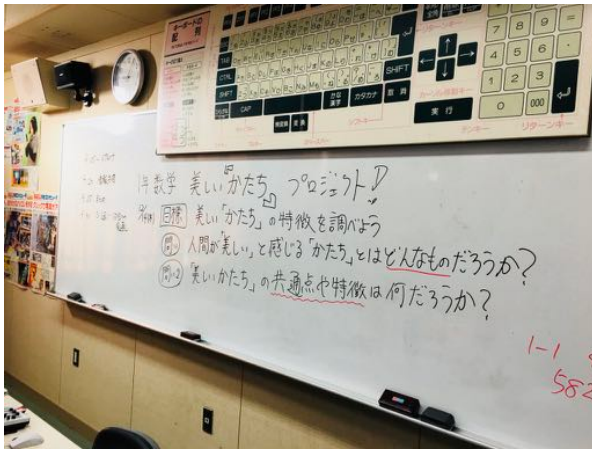
今回のプロジェクトに必要な役割を明確に生徒に示しました。自分の適正と探求したいテーマをクロスさせ、自分の名前をかいたふせんを貼りながら、学級の中で調整を図りました。

- 1) プロデューサー（班長）
- 2) ディレクター（副班長）
- 3) キャスター（発表者）
- 4) プレゼン編集長（PP 編集責任者）
- 5) カメラマン
- 6) アシスタント



上記6つの役割を班決定後は担うことにしました。まだ自分の適性を自分ではわからない生徒も多かったです。原則、それぞれの役割を全うすることが大切ですが、班の中で、仕事を分担するのは構わないということも生徒たちには伝えました。ただ、担当者ごとの打ち合わせがある場合は、責任を持って参加することだけは生徒たちと約束しました。





一方、数学の授業では、美しい“かたち”プロジェクトをスタートしました。生徒たちには「人が美しいと感じるかたちとはどんな特徴や法則があるのだろうか？」と問いかけました。もし、特徴や法則があるのであれば、それを学ぶことは将来の生活に役立つ情報になるということで動機付けをしました。

生徒：特徴って何？

生徒：何をノートに書けばいいんですか？

生徒：今から何をすればいいんですか？

生徒：どう調べたらいいの？



問いかけに対して手立てを与えてもらっていた今までから、自分で探求する形の授業に変わりました。なれないことに、生徒たちは戸惑いもありましたが、「一つのテーマから自分たちで探求し、特徴をまとめる」という学習の形式で自ら学ぶ方法も兼ねて学習を進めました。

また、美しい“ことば”プロジェクトも少しずつスタート。人のこころを揺さぶる言葉やインパクトのある言葉の法則について学習し、発表の際に伝わる“間”のとり方や発表の仕草など、話のひきつけ方について学習をしました。

その頃ようやく班編成が決定。バランスよく班編成をすることができた班もあれば、少し納得のいかない班もあったようです。しかし、学級全体でバランスを考え、みんなが少しずつ我慢することで班を決定することができました。

班編成後も、班のテーマがなかなか決まりませんでした。そこで、ブレインストーミングを行い、「大阪城の堀」や「造幣局の立地」というように「〇〇の〇〇」といった形でテーマ考えてみることや、「なぜその場所に？」や「どうしてその年に？」という形で疑問詞をコラボさせることで探求を深めることを考えるよう促しました。それぞれ少しずつ、紹介したいものへの疑問が生まれ、探求の道筋が決まってきました。時間はかかりましたが、生徒たちが納得のいく班編成を行うことができました。

大阪市、勝手に!! 調べて、大使!! 学びの方向

班名	班長	副班長	発表者	PP	カメラ	アシ	発信したいもの(この場内ナリ)
A	丸根	脇本	島田	唐木	坂本	尾上	NHK大阪放送局
B	関根	藤坂	大槻	安原	大山	平井	大阪市東洋館美術館
C	西原	阿部	金沢	岡口	坂本	井上	大阪市中央公会堂
D	前原	富永	雨庭	吉田	荒木	浦島	造幣局
E	福田	吉田	Y田	筑内	土屋	鈴木	大阪市自然史博物館
F	松永	東	鈴木	金丸	福永	野次	大阪城の歴史
G	坂本	教野	佐々木	高森	古田		花博の風車
H	村上	渡邊	萩田	上賀	前川	平山	四天王寺、五重塔の歴史
I	園部	岡口	楠	杉本	大城	吉田	天満宮周辺の文化の歴史
J	徳山	南	繪所	木下	川本	山崎	大阪の今と昔
K	香本	高島	川橋	玄田	川向	山崎	行吉大社の魅力

H30.12 11:00 承認した。





また、この班編成に入るまでに、「パワーポイントって何？伝えるって何？」ということにも向き合う必要がありました。活動の最後にどんなことをすれば良いのか、生徒たちの到達点をある程度示し、取り組みに見通しを持たせることにしました。予算は0円だと生徒たちに公言したため、自分たちで工面する必要がありました。Intel teach program マスターティーチャー講習に参加した経験を利用し、外部講師として生徒にプレゼンテーションを行いました。



ようやく軌道にのってきて、いよいよ各担当者別会議を実施しました。最初は、班長・副班長合同で担当者会議「探求の視点をどのように持てば良いのか？」こんな問いかけをリーダーたちに投げかけ、各班で取り組む指針を提案しました。



また、チームパワーポイント（以下 PP）は、PP の構成やアニメーションの入れ方まで幅広く講習。「習うより慣れろ」の精神で、パソコン室にてずっと作業。昼休みに活動することが多かったですが、責任感とたくさんのアイデアを持って、作成をしていました。

生徒：スライドはこの順番の方がいいかな？

生徒：文字の色は赤の方が見やすいんちゃう？

生徒：写真の大きさはどれくらいが見やすいかな。

生徒：そろそろ発表者と打ち合わせして、進め方を考えないと。



など、作っていく中でたくさんの気づきや工夫が見て取れました。ある程度 PP が完成した班からプリントアウト。それに発表者が発表原稿を考えます。自分の話し方もあるようで、PP と発表者は時に一緒になってパソコン室にきて打ち合わせをしていました。また、班長や副班長も探求の視点を伝えるべく、みんなて発表原稿を書き始めます。班の協働が始まりました。





そんな中、チームアシスタントは編集作業や方向性を決めるといった作業ではなかなか活躍できませんでしたが、「最高の心配り！」を合言葉に、班員の学習サポートを行いました。また、美しい“街”プロジェクトと題して、校外学習の際に街の清掃活動を行うことで、地域貢献を行うことも考えました。今年度から学校で内環状線の周辺の清掃を行っていたので、それをヒントに活動を計画しました。



チームカメラは、発表する施設や場所の PP 用の写真を集めることが主の仕事となりました。活動までに美しく写真をとる秘訣について調べ学習を行いました。ここにも数学的な美しい“かたち”の法則があることを学びました。カメラのキタムラのフォトコンテストに出展することをアナザーゴールとし、写真の勉強を行いました。また、班員の活動の記録も取り、みんなの学習の様子を最後に映像でつなぐ美しい“つむぎ”プロジェクトにも協力することとなりました。

このように班ごとに、また担当ごとに役割を持って、大阪市の「美しさ」に迫って行きました。校外学習が3日後に迫る中、プレプレ（プレ・プレゼン）を実施。各班 PP と発表原稿をもとに、練習を行いました。アドバイザーとして学習支援員の方に入ってください、奇譚のない意見をいただきました。ここでの反省を踏まえ、校外学習でどんなことを調べるか、目的が明確になってきました。生徒も教師も活動のゴールに対する到達点を見据えることができました。



いよいよ校外学習へ。自分たちで探求する場所を決め、自分たちで時間を調べて行きました。初めての訪問形式の学習だったため、約束は教師が取り、そのあとは班員だけで訪問しました。実際に施設を管理されている方からお話を伺うことや、調べるだけではわからないことを肌で感じることができました。訪問先以外には、歴史博物館と、物流の起点であった大川の散策も行いました。この日の出発の諸注意や伝達事項は全て、各担当の代表者から連絡をしてもらいましたが、違反者やトラブルなく、無事に帰校することができました。



班のプレゼンテーマと校外学習の行き先

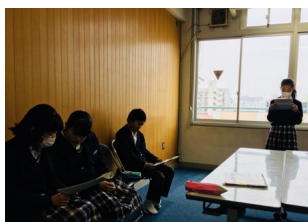
班名	伝えたい魅力・テーマ	行き先
A	真田丸について	三光神社
B	街に潜む、数学的「美」に迫る！	中央公会堂、大阪市立東洋陶磁美術館
C	中央公会堂の探求	中央公会堂
D	お金から探求する大阪の“美”	造幣局
E	日本橋って？八坂神社の謎	難波八坂神社
F	大阪城の今と昔	大阪城天守閣
G	そうだ、花博に行こう！！	花博記念公園
H	五重塔の魅力に迫る！	四天王寺
I	I班の愛の天満宮	大阪天満宮
J	ことばって何だろう？	大阪暮らしの今昔館
K	住吉大社のびゅーてい	住吉大社



校外学習から帰校後は、一週間後にむかえたプレゼン大会の順番決定の抽選会。司会も生徒とともにいき、今回は一斉抽選で順番を決めました。アシスタントがプレゼン大会の会場レイアウトの報告をしたあとだったため、少し雰囲気のある会場の中で抽選会を実施することができ、盛り上がりました。



いよいよラストスパートとなり、各班、発表原稿と PP の最終校正に入りました。2日前にリハーサルを各班 10 分ずつ実施しました。最後のリハーサルもカメラ担当がタブレットで撮影し、また、アシスタントはスポットライトの調整等を行い、発表の際の自分たちの仕事も確認しました。生徒が考えたこのプロジェクトのテーマは「努力は足し算、協力はかけ算！全員が主役のびゅーていプロジェクト」でした。本番が近くにつれ、全員がそれぞれの役割をこなし、班として有機的な動きをするようになっていました。



最後のプレゼン大会は運営委員を募集しました。立候補の 4 人と学級代表を 2 名追加し、6 名でプレゼン大会の運営を行いました。

【前日準備の様子】



前日準備はチームアシスタントが担当をしました。また、カメラ担当も出展する写真を玄関展示し、会場に彩りを添えました。精力的に準備をしてくれたので、学年行事とは思えない、緊張感すら感じる会場を創ることができました。

当日の発表会はどの班も大阪市の美しさに迫り、立派に大阪市の魅力を発信することができました。最後はチームカメラが撮ってきた写真を編集し、美しい“つむぎ”プロジェクトと題し、映像で振り返りました。自分が担当してない仕事は何をしてくれていたのか、また、各班どのように活動していたのかを確認することができました。それぞれの役割をそれぞれ頑張ることができた今回のプロジェクト、終わったあとはみんなが充実感に満ち溢れた表情をしていました。閉会の挨拶の際、代表生徒がここまで支えてくれた先生に感謝の気持ちを述べていました。全体写真を取り、1年の学び納めとしてのプロジェクトは幕を閉じました。



このような活動をさせてもらった大阪市と各施設に、私たちは感謝の気持ちが芽生えました。大阪市は2025年に大阪万博の誘致を目指しています。大阪の魅力を伝える活動を通じて、大阪の魅力を世界に発信している市長、吉村洋文さんの存在を知りました。そして、観光大使である柿谷曜一朗選手は、サッカー選手という仕事もしながら魅力を発信する仕事も行っていることに対して、改めてすごさを感じました。



最後に、一番初めに渡した資料の中に記載していた、「取り組みの7つの方向性」を掲載します。また、進む中で生まれた新たな方向性をその8に記します。ここまでのプロジェクトとして学べたことに感謝をしています。

取り組みの7つの方向性

7つの「びゅーてい」に迫ります。



その1：美しい「心」プロジェクト

学年目標である「人間として、他人の心がわかる人」に向けて、活動を通じて心の美しさを磨きます。今まで学んできた「団結・思いやり」もつなげて学習を進めていきます。他者に対して自分の行動や、公德心、マナーに加え、探究的な姿勢や、主体性を持って、学びのつながりを総合的に活用し、自らの考えや思い、つまり、「心」の表現に迫ります。

その2：美しい「プレゼン」プロジェクト

大阪市のびゅーてい大使として、大阪市を「美しい」をテーマにまとめます。実際に見学もしながら、大阪市の良さを、PPを使ってまとめ、プレゼンテーションをします。最後は全体でプレゼン大会を行い、自分たちの考えをまとめ、発信します。

その3：美しい「大使」プロジェクト

大阪市の観光施設、ものの歴史に迫り、「なぜできたのか」、「どんな思いを持って建てられたのか、または作られたのか」といった隠された内なる想いを発信します。

その4：美しい「街」プロジェクト

生徒会の清掃活動とコラボレーションし、食事場所の清掃はもちろん、大阪市の美しい街づくりに貢献することを考えます。

その5：美しい「ことば」、プロジェクト（活動を支えるプロジェクト）

プレゼンテーションをする上で、伝わりやすいまとめ方や、美しいもの、思いを表現する方法を考えます。他者の立場に立って、どのように伝えれば良さが伝わるのかを考えます。

その6：美しい「かたち」プロジェクト（活動を支えるプロジェクト）

人が認知する美しい「かたち」の法則について学びます。対称性や規則性などの基本原理を知り、今回のプロジェクトの美しさを切り取る道具とします。

その7：美しい「つむぎ」プロジェクト

今回の学習を第3者の視点で撮影します。校外学習での写真などをつなぎ、活動の様子を記録します。

その8：美しい「感謝」プロジェクト

今回の学習を支えてくれた施設の方にお礼の気持ちを伝えます。支えのおかげで完成することのできたプレゼン資料も添えます。また、勝手に大使として活動した成果報告を“勝手に”大阪市長と大阪観光大使に送ります。深い学びを得たことに、お礼と感謝を伝えます。

☆本当にありがとうございました☆